

七尾市農業委員会だより

2023

秋

令和5年9月1日発行／発行 七尾市農業委員会／編集 農業委員会だより編集委員会
TEL 0767 (53) 8440／FAX 0767 (52) 7765／E-mail:nougyouinkai@city.nanao.lg.jp

No.69



奥原町

会長就任のごあいさつ

七尾市農業委員会 会長 坂井助光

この度の農業委員の改選により19名の農業委員が任命され、総会で会長に選任されました。また、22名の農地利用最適化推進委員も任命され、新体制が整いました。農業委員及び農地利用最適化推進委員と協力し農業委員会事業の推進に頑張る所存でありますので、よろしくお願いいたします。

近年の農業を取り巻く情勢は厳しいものがあります。社会全体をみれば、人口減少・少子高齢化が進み、農業は担い手と後継者不足が言われています。加えて生産資材の高騰、米や野菜等農産物価格の低迷など多くの課題を抱えております。

農業委員会では、農地の適正管理・担い手の育成等の重要な事項に加え、今後は多様な担い手を加えた集落をはじめとした地域農業の在り方が問われる地域計画策定があります。また令和6年4月1日から相続登記が義務化されます。このことは全国に未登記物件があまりにも多く、多方面で業務に支障が出ていることから制度化されるものですが、農業委員会としては不在地主の問題や小規模な土地持ち非農家が増えることが懸念されます。

このような大きな課題を抱えて、農業委員と農地利用最適化推進委員は農家をはじめ農業委員会事務局と一体となって活動に取り組んでいく所存です。地域の皆様方におかれましては、七尾市勢発展のためご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

七尾市農業委員会 辞令交付及び初総会の開催

農業委員19名・農地利用最適化推進委員22名が決まりました。

七尾市農業委員会は、農業委員は8月1日から、農地利用最適化推進委員は8月4日から新たな委員でスタートしました。

初総会に先立ち、農業委員19名に市長から辞令が交付され、初総会では会長に坂井助光委員を再任、会長職務代理者に寺井英雄委員が選出されました。また専門委員会として運営委員会委員長に萩原俊彦委員、里山海経営活性化委員会委員長に山本正秋委員、編集委員会委員長に坂本良正委員が就任されました。

初総会で承認された農地利用最適化推進委員22名に、坂井会長から委嘱状が交付されました。農業委員、農地利用最適化推進委員は協力して、七尾市の農業振興のため、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進による農地等の利用の効率化などを図っていきます。

なお、今回選ばれた農業委員及び農地利用最適化推進委員の任期は令和8年7月31日までとなります。



農業委員辞令交付



初総会



農地利用最適化推進委員委嘱状交付

地域農業の未来 「地域計画」の策定

農業従事者の高齢化や担い手不足が心配される中、10年後に誰がどのように農地を使って農業を進めていくのかを取りまとめる地域計画策定の取り組みが開始されます。

これまでの人・農地プランが「地域計画」として法律に定められ、地域での話し合いによって、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化し、計画に沿って取り組みを実行することとなりました。

現在の耕作者を把握した地図を見ながら担い手を中心に話し合いを進め、10年後に目指すべき農地利用の姿を表示した「目標地図」を作ります。

目標地図の実現を目指して、集約した農地で効率よく農作業ができるよう農地バンクの活用により集積を進めていきます。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いたします。

農林水産課



七尾市農業 委員会委員

(任期：令和5年8月1日)
令和8年7月31日)

① 坂井 助光 委員



会長
細口町ホ部29番1地
農業を元気にして地域の
活性化を図ります。

② 寺井 英雄 委員



職務代理者
吉田町ト部8番地
遊休農地の発生を防止し
地域の景観を守りたい。

③ 山本 正秋 委員



中島町中島23部96番地
地域農業の振興を図り、
農地等の利用最適化推進
を進める。

④ 萩原 俊彦 委員



東浜町テ部35番2地
地域農業のために頑張っ
ています。

⑤ 大濱 昭 委員



三室町54部20番地1
荒廃地の防止、遊休農地
の解消、農地の掘り起こ
しに努力します。

⑥ 山岸 邦夫 委員



中島町西谷内ヤの17番地
持続可能な農業を推進し
ます。

⑦ 平山 洋也 委員



能登島鯉日町は部109番地1
地域農業の発展に努めま
す。

⑧ 酒井 稔 委員



温井町チ部106番地
遊休農地の発生防止と地
域の農業振興に取り組み
ます。

⑨ 黒土 政徳 委員



佐野町ノ部9番地3
持続可能な地域の農業振
興に努めます。

⑩ 佐々木幸造 委員



杉森町イ部7番地
農業の景観を守り、明日
に希望を抱ける農業に汗
をかきたいと思います。

⑪ 北谷 俊一 委員



中島町笠師へ甲部80番地
優良な農地の活用など地
域農業の振興に努めます。

⑫ 橋本 良子 委員



南ヶ丘町21番地
食育事業を通じ、農地農
産物への理解を得るため
の地域活動を推進したい。

⑬ 西野 猛 委員



矢田町コ部9番地
遊休農地発生防止、地域
農業発展に努めたい。

⑭ 岡崎 康 委員



中島町河崎ト部9番地2
地域農業の担い手、農地
の有効活用環境づくりに
努めます。

⑮ 菱野 仁志 委員



能登島向田町120部14番地の1
農業環境がもっと良くな
るように頑張ります。

⑯ 坂本 良正 委員



能登島半浦町15部33番地の2
耕作放棄地の防止および
地域農業を守ることに努
めます。

⑰ 松田 友也 委員



中島町浜田チ部4番地
農業の振興と地域の発展
のために日々取り組んで
いきたいと思います。

⑱ 小柳 宗久 委員



新保町カ部30番地
下学上達の気持ちで委員
活動、農業振興に努めま
す。

⑲ 法京 廣照 委員



飯川町2部48番甲地
多様な農業の活性化のため、
地域農業の発展に努
めます。

第二区域				第一区域				区域
町名				町名				町名
江泊町・大野木町・鶴浦町	三室町・湯川町・岡町	柑子町・外林町・庵町	佐々波町・麻生町	大泊町・黒崎町・	熊淵町・水上町・滝尻町	東浜町・花園町・山崎町	殿町沢野町大田町大田新町	細口町・白馬町
								坂井助光
								神野外志
								室塚義明
								法京廣照
								白山博
								竹山久雄
								小柳宗久
								酒井稔
								西野猛
								山田清隆
								飯田保
								岩見信秀
								萩原俊彦
								伊豆良一
								大濱昭
								岩木稔

農地・パトロール担当

七尾市農地
利用最適化
推進委員
(任期：令和5年8月4日
令和8年7月31日)



① 神野 外志 委員
八幡町ヲ部20番地 第一区域
委員会の指導を仰ぎ、少しでも放棄地解消に努めます。



⑤ 室塚 義明 委員
江曾町井部55番地 第一区域
年々増加する遊休農地の針路を再考していきたい。



⑥ 飯田 保 委員
古屋敷町カ部19番地 第二区域
農家の高齢化に伴う離農による、耕作放棄地の有効利用の推進を図ります。



⑩ 山田 清隆 委員
藤橋町ラ部20番地甲 第二区域
高齢化による農業離れが進んでいます。地域の問題として取り組みます。



⑪ 長田 大輔 委員
三引町10部5番地 第三区域
初めてなので解かりませんが、耕作放棄地の有効利用のため頑張ります。



⑮ 円道 貢 委員
中島町西谷内ノの27番地 第四区域
初めての事なので、地域の人の意見を多く聞いていくよう努めていきます。



⑯ 田浦与之詞 委員
中島町瀬風ハ部103番地 第四区域
地域農業の発展と担い手への農地集約に努めたい。



⑳ 村瀬 峰行 委員
能登島野崎町87部28番地 第五区域
地域農業の維持、後継者不足の解消、遊休農地減少に努めたい。



㉑ 村田 重則 委員
能登島別所町44部17番地乙 第五区域
遊休農地の利活用、若手担い手の確保に努めたい。



② 白山 博 委員
千野町ナ部52番地 第一区域
耕作放棄地発生を防止し、地域農業の発展のため努力します。



⑦ 伊豆 良一 委員
大泊町崎谷157番地1 第二区域
耕作放棄地の解消と遊休農地の保全、景観管理に努力していきます。



⑫ 福田 純也 委員
深見町タ部3番甲地 第三区域
今年3年間少しでも農地が減らぬよう頑張ります。



⑰ 中島 宗満 委員
中島町上町ヲ部58番地 第四区域
農地の集積、集約化と農作業の標準化を図り、効果的な農地利用を進めたい。



㉒ 室屋 哲生 委員
能登島長崎町シ部17番地 第五区域
遊休農地の利活用、地域農業の活性化に努めます。



③ 竹山 久雄 委員
多根町シ部40番地 第一区域
農業の担い手の育成、確保に取り組めます。



⑧ 岩木 稔 委員
鶴浦町69部74番地1 第二区域
推進委員二期目となります。各委員と協力し地域農業の発展のため努力します。



⑬ 山田 修 委員
田鶴浜町元字川尻タ部33番地5 第三区域
農地集積・集約化に努め地域農業に貢献していきます。



⑱ 細谷 明郎 委員
中島町笠師ノ部86番甲地 第四区域
遊休農地の利活用、農地の集積を図り、地域農業の活性化に努めたい。



④ 道下 利信 委員
石崎町1部38番地 第一区域
荒涼とした耕作放棄地を無くし、美しい田園を創生するため尽力します。



⑨ 岩見 信秀 委員
殿町ヲ部23番地 第二区域
耕作放棄地の発生防止、解消に向けた地域活動等に努めます。



⑭ 石坂 竜太 委員
中島町外原2部9番地2 第四区域
新規就農者を増やし、放棄地の解消に努めます。



⑲ 西川 大介 委員
能登島須賀町19部94番地 第五区域
担い手の育成に努め、農業で生活できる環境を整えていきたい。



第五区域	第四区域	第三区域
能登島須賀町・能登島蘭町・能登島無間町・能登島南町・能登島半浦町・能登島久木町・能登島尻町・能登島通町・能登島百万石町	能登島六町・能登島白ヶ島町・能登島野崎町 能登島長崎町・能登島綾目町・能登島小浦町 能登島八ヶ崎町・能登島母ヶ浦町 能登島向田町・能登島佐波町 能登島別所町・能登島曲町	舟尾町・川尻町・新屋町 垣吉町 田鶴浜町 三引町 高田町・杉森町 伊久留町・吉田町・西下町 七原町
坂本良正	岡崎康 山本正秋 松田友也	寺井英雄 佐々木幸造 佐々木幸造
西川大介	中島宗満 円道貢 田浦与之詞	福田純也
村田重則	室屋哲生 細谷明郎 石坂竜太	長田大輔 山田修

「若い農業者の先駆けに」



守崎 裕也 さん (白馬町)

小さいころから食べることが大好きだった守崎さん。いつしか「自分が食べるものは自分で作りたい」と思うようになり、北海道の大学で農業を学んだのち、三年前に「白馬農園」を立ち上げ野菜作りを始めました。

こだわりの無農薬栽培、そして手作りの肥料。米ぬか、魚粉、油粕を独自の配合で混ぜ合わせ作っているそうです。丹精込めて育てた野菜を消費者の元に届けるまでが作り手としての醍醐味だと感じ、現在は県内各地のイベントで出店・販売をしています。

“一生懸命育てた”という実感が沸くのは、自分の手で直接販売する時だそうです。どんな人が買いに来てくれるのか、またお客さんが

ピートしてくれているのを見ることもでき、農業を営む上でのやりがいにつながっていると云います。

農業者として事業を始めてから三年。無農薬栽培のため、一部傷がついたものや、売れ残ったものを再利用できないかと考え、カレーとしてリメイク。今年の4月から「白馬咖喱」として、小島町にあるフレンチ料理屋「ひのともしり」の定休日である月曜日にお店を借りて提供しています。

近年若手の農業者が少ない中、自分のことを知ってもらい農業に興味を持ってもらえるよう、その先駆者として刺激を与えたいと話しています。



女性農業委員の活動 くんなおあいじこども園にて

橋本 良子委員

7月21日、園児への食育活動の一環としてじゃがいもを使ったピザ作り体験を行いました。橋本委員がじゃがいもにまつわる話を行うと、園児たちは熱心に耳を傾け「話がおもしろかった」「家に帰ってお母さんにじゃがいもの話を教えてあげたい」などと話していました。

ピザに使ったじゃがいもは、藤野町の畑で園児たちが春から植え付けや水やりといったお世話をし、収穫したものです。

じゃがいもは江戸時代にジャカルタ（インドネシア）から日本にやってきたもので、おもに春と秋に収穫できます。でんぷんが豊富で「畑のリンゴ」とも言われているほどビタミンCもたくさん含まれています。みなさんもじゃがいもを通して体に必要なエネルギーを積極的に摂取しませんか。



令和5年度 農業委員会研修会・農地パトロール出発式



8月7日、志賀町文化ホールにおいて、能登地区農業委員会研修会が開催されました。

全国農業会議所担当者による「農業委員会組織・制度をめぐる情勢について」の講義や、石川県農業経営戦略課担当者から「地域計画」策定に向けて、委員としての具体的な取り組み方などについて学びました。

研修会後は、農地パトロール出発式が行われ、耕作放棄地の解消や違法転用防止に向けてガンバロー三唱を参加者全員で行いました。

「農地パトロール」を実施します



農業委員会では「農地等の利用の最適化」を推進していくために、地域の農地利用状況の確認と遊休農地の実態把握や発生防止・解消などの指導のため、毎年農地パトロールを行っています。

今年も9月、10月を中心に農業委員及び農地利用最適化推進委員が管内の農地をパトロールします。農地に立ち入ることもありますので、ご理解とご協力をお願いします。現地調査の結果、「遊休農地」または「遊休化の恐れがある農地」の所有者に「利用意向調査」を行います。農業委員または農地利用最適化推進委員が訪問して聞き取りを行いますので併せてご協力をよろしくをお願いします。

農地の適正な管理をお願いします

農地の手入れがされないと病虫害の発生源となり、近隣の農地や地域住民の方のご迷惑となります。所有者、耕作者の方は草刈りをするなど適正な管理をお願いします。



全国農業新聞

経営と暮らしに役立つ情報がいっぱい

を購読
しましょう!

- ◆発行日 毎週金曜日
- ◆購読料 一カ月700円 年額8,400円

編集後記

今回は農業委員19名と農地利用最適化推進委員22名の紹介と地区担当を掲載しています。是非3年間保存して頂きたいと思います。

改選に伴い編集委員も新たに構成されました。皆様に農地等に関する情報を伝えていきますので、よろしくお願いたします。

編集委員一同

- 委員長 坂本良正
- 委員 酒井 稔、橋本良子、西野 猛
佐々木幸造、松田友也

国が支える 安心が大きくなる

担い手積立年金

農業者年金 〔愛称〕

3つの要件を満たせばどなたでも加入できます!

- ◆加入資格
- 60歳未満
- 国民年金第1号被保険者
- 年間60日以上農業従事



税制面の優遇措置や終身年金で80歳までの保障付きなど様々なメリットがあります。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ、お申し込みは農業委員会へ ☎ 53-8440 FAX 52-7765